

日本女子大学大学院文学研究科

紀要

第23号

日本女子大学大学院文学研究科

紀要 第23号

平成二十八年

JOURNAL

of

The Graduate School of Humanities

23

Permissibility of the Indicative "ano" (a-Series) According to the Subjectivity of a Predicate Phrase	YOU Kyunghee	1
The Narrator as Therapist: Narrative Therapy in Saul Bellow's <i>Herzog</i>	INOUE Asa	19
A Reading of Evelyn Waugh's <i>Sword of Honour</i>	KONO Keiko	31
Folk-Song Collecting in the Late Victorian Period	HIROSE Emi	47
<hr/>		
The <i>Heike Monogatari Hyoban Hidensho</i> and a Study of Watanabe Jizaemon	ABE Michiyo	1
The contemporary and early modern periods seen through Motojiro Kajii's "Lemon"	KONDO Nori	17
Classical Literary Cultivation of Arakida Reijo in the Reijo Dokugin Senku: As Seen in the Poet's Use of Monogatari Narrative Works	TOKITA Saori	29
Miyoko Goto and "Mother Poems" During the Showa War Years: A Discussion of the Second Collection of <i>Tanka Poems, Oka no ue</i>	HAMADA Mieko	41
Radio, TV and Ishikawa Jun - upon using the NHK Academic Access Trial	YAMAGUCHI Toshio	59
Taijun Takeda's views on China around 1947 - centering on the death of Karashima in the novel <i>Mamushi no sue</i>	LI Nana	85
Life of <i>Keijyu-in</i> who order <i>Uesugi-hon Rakutyu-Rakugai-zu</i> Folding Screen	KOTANI Ryoko	101

2016
Japan Women's University

『平家物語評判秘伝抄』―渡部治左衛門考―	阿部美知代	1
梶井基次郎「檸檬」にみる近代と前近代	近藤のり	17
『麗女独吟千句』に見る荒木田麗女の古典教養 ―物語作品の利用から―	時田紗緒里	29
五島美代子 昭和戦時下における〈母の歌〉 ―第二歌集『丘の上』をめぐって―	濱田美枝子	41
ラジオ・テレビと石川淳 ―NHK番組アーカイブス学術トライアルを利用して―	山口俊雄	59
一九四七年前後武田泰淳の中国観 ―「嫂のすえ」の辛島の死を中心に―	李娜娜	85
上杉本洛中洛外図屏風注文者 近衛氏の生涯	小谷量子	101
叙述部の主観性による「あの（ア系）」の許容度について	柳敬姫	1
セラピストとしての語り手 ―ソール・ペローの『ハーツォグ』に見られるナラティブ・セラピー―	井上亜紗	19
物語の語られ方: Evelyn Waugh の <i>Sword of Honour</i> の場合	甲野恵子	31
ヴィクトリア朝後期におけるフォークソング収集	廣瀬絵美	47
平成二十八年度大学院文学研究科学位論文・修了論文題目・研究主題一覧		61

平成28年
日本女子大学

日本女子大学大学院文学研究科紀要

編集規定(抜粋)

1. 本紀要は、本研究科学生および修了者に対して、研究を発表する場を提供することを主たる目的とし、毎年三月に発行する。
2. 略
3. 本紀要に執筆できる者は、以下の通りとする。①本研究科在學生、②本研究科修士課程または博士課程前期修了者、後期課程満期退學者、本研究科において博士の学位を授与された者、③本研究科専攻教員。
4. 本紀要に掲載する論文は、単著・共著を問わない。ただし共著の場合は、執筆者の少なくとも1名が、本規定第3項に該当する者であること。
5. 論文の執筆者が、本規定第3項の①または②に該当する場合は、当該専攻による選考を経ること。
- 6・7. 略
8. 執筆者には抜刷40部を贈呈する。それ以上は、実費を本人負担とする。

執筆要項

1. 原稿は、図表および注を含めて400字詰原稿用紙30～50枚とする。英文の場合はこれと同等の長さとする。
2. 原稿の紀要委員会への最終提出期限を10月末とする。
3. 原稿は、原則として横書きとする。ただし、日本文学および史学専攻においては縦書きとすることができる。
4. 原稿は、原則としてデジタルデータとプリントアウト2部を提出すること。デジタルデータには作成環境、氏名をテキスト形式で明記すること。(事故に備え、提出前にあらかじめ原稿のコピーを手元に保管しておくこと。)
5. 原稿には、英文タイトル、ローマ字氏名、所属および大学院修了年を明記すること。ただし、英文論文は、日本語タイトル、氏名を明記すること。
6. 原稿には、横書き和文700字程度の要旨と、英文による500語程度の要旨を、そして和文・英文ともにそれぞれ5語以内のキーワードを添付すること。
7. 図表は、本文とは別紙に書き、「図1」「表1」のように通し番号をつける。表の題名はその上部に、図と写真の題名は下部に書く。説明文はいずれも下部に書くこと。そして、本文の右余白に、表、図、写真の挿入箇所を指定しておくこと。
8. 校正は原則として再校までとし、著者が行う。

日本女子大学大学院文学研究科紀要 第23号

平成29年(2017) 3月15日 発行

編集委員 田中大士・松森晶子・平石淑子
阿部美知代・阿部あかり・姜錫正

発行者 日本女子大学
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
電話 03-3943-3131 (代表)

印刷 株式会社 秀 飯 舎
〒331-0058 埼玉県さいたま市西区飯田70
電話 048(624)1121